

家で電気が消えたとき

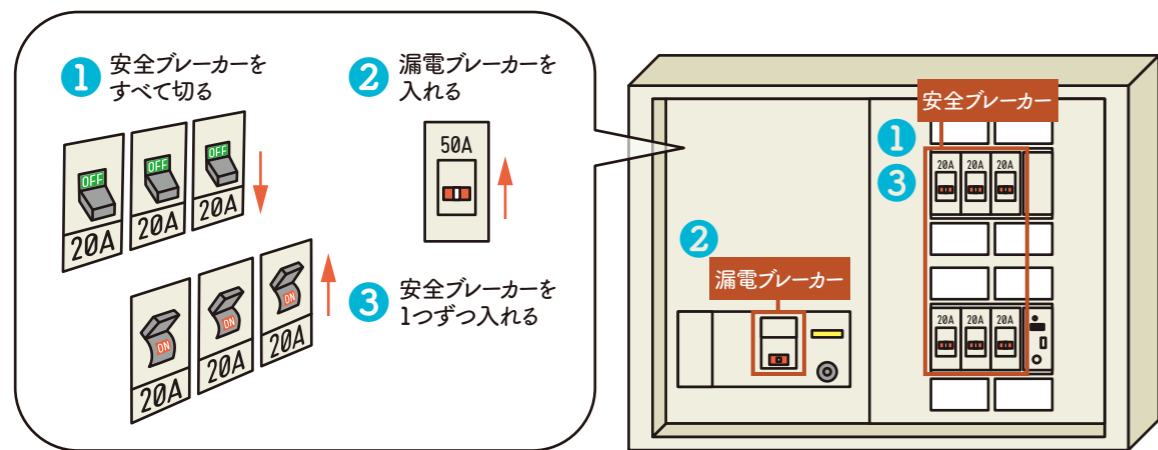
家の中の一部が消えている場合

多くの電気製品を同時に使用したため、過剰な電気が流れたこと(過電流)が考えられます。また、電気製品等の不具合も考えられます。分電盤の安全ブレーカーを確認してください。



家じゅうの電気が消えている場合

漏電が発生した可能性があります。漏電ブレーカーを確認してください。



ご近所も消えている場合

電力会社・送配電会社の設備による停電とされます。関西電力送配電にお問い合わせください。



詳しくは関西電気保安協会または関西電力送配電のホームページをご覧ください。

ksdh | 「電気の情報」→「電気の基礎知識」→「ご家庭で電気が消えたときは」



家の電気が消えたときの対処法

家の電気が消えたときはついつい慌ててしまいますが、まずは落ち着いて停電状況を確認しましょう。

停電時には、固定電話・IP電話は、一部を除き、基本的に利用できなくなります。万が一に備え、携帯電話等の代替手段をご用意ください。また、予備電源(市販のバッテリーやUPS〔無停電電源装置〕)を備える方法もあります。

詳しくは総務省ホームページをご覧ください。

